

2. 学部授業科目

授業科目名 (英文表記)	紀州郷土学C (郷土の保全、管理、活用) (Kisyu hometown study C)		
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義
担当教員	出口 竜也、加藤 久美、今村 隆男、永瀬 節治、中村 太和、藤田 和史		
開講	南紀熊野サテライト	区分	学部開放科目
実施日・時間	6月7日(土) 13:00~17:00	担当:加藤 久美	
	6月14日(土) 13:00~17:00	担当:今村 隆男	
	6月21日(土) 13:00~17:00	担当:永瀬 節治	
	6月28日(土) 13:00~17:00	担当:中村 太和	
	7月5日(土) 13:00~17:00	担当:藤田 和史	
	7月12日(土) 13:00~17:00	担当:出口 竜也	

【講義概要】

紀伊半島(和歌山県と三重県南部の紀州地域を主とする)を保全、管理、活用の観点から「郷土：紀伊半島」を考えます。「地域の独自性」を総合的に学べるカリキュラムです。本科目では、地質、地形の上に生物や人間の営みがあって、それらを保全、管理、活用することで持続可能な現在の紀伊半島の多様性があることを学びます。

学生をはじめ、地域づくりの活動をされている方、観光関係、地域ガイドの方にも受講していただきたい。

【授業計画】

第1回「環境倫理、サステナビリティ、自然信仰」加藤 久美(観光学部)

自然環境との共生(持続性)を支える人間の精神性、その文化について考える。

第2回「ナショナル・トラスト運動ーイギリス湖水地方から天神崎へ」今村 隆男(教育学部)

19世紀以降のイギリスにおいて環境保護の考え方がどのように形成されてナショナルトラスト運動につながったのか、そして現状はどうなっているのかを考察し、イギリスの事例を参考に郷土のナショナルトラストについて考える。

第3回「世界遺産と景観保全」永瀬 節治(観光学部)

かけがえのない世界遺産を継承する上で不可欠な景観保全の考え方と仕組み、課題について考えます。

第4回「自然エネルギーの宝庫・紀伊半島」中村 太和(非常勤)

小水力・森林資源を中心に自然エネルギーの可能性と活用策について考えたい。

第5回「紀伊半島の風土産業」藤田 和史(経済学部)

各地の環境・資源に根ざした産業である風土産業という考え方を概観しながら、紀伊半島の風土産業の一つであるシュロ産業、そしてそこから発展した家庭用品産業について考察する。

第6回「これからの地域経営のあり方」出口 竜也(観光学部)

和歌山県におけるこれからの地域経営のあり方について、持続可能性の視点から考えていきます。

【到達目標】

紀伊半島の保全、管理、保護を考え自らのことばで語るができる。

またそれらについて自らの興味に基づいて、自ら文献等を調べることができる。

【教科書・教材】

基本的には講義ごとに資料を配付します。

【参考書】

特に指定はありません。

【授業時間外学習】

紀伊半島の歴史、生活、自然などのニュースについて、関心を持ちながら集めておいてください。地域でどんなことが話題になっているのかを整理しておいてください。

【履修上の注意・メッセージ】

講義は1回完結です。郷土の保全、管理、活動が、地域の暮らしにどうつながるのか考えてください。

特に紀州郷土学A、Bの受講生は地形、地質、生物、文化、歴史との関連性について考えてみてください。